

B 関連社会資本整備事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考											
										H29	H30	H31	H32	H33													
合計																											
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考											
C 効果促進事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考											
										H29	H30	H31	H32	H33													
合計															0												
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考											
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				交付金対象事業の整備により交通アクセスが向上し、【広島県・岡山県 共通目標】備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額は増加傾向であり、事業の効果は発現している。																							
II 定量的指標の達成状況				指標①（製造品 出荷額等）		中間目標値 (H31末)	32,600億円	目標値と実績値 に差が出た要因		平成30年には33,115億円と順調に伸びていたが、平成31年は32,210億円と落ち込んでいる。これはコロナ禍の影響で、製造業の需要が弱まり製造量が減少したことに伴う出荷量の減少により、短期的に出荷額が落ち込んだものと推察される。																	
						中間実績値 (H31末)	32,210億円																				
				指標②（製造業 従事者数）		中間目標値 (H31末)	10,658人	目標値と実績値 に差が出た要因											新規企業の立地などにより従業者数が想定より堅調に伸びたため、当初の目標を上回った。								
						中間実績値 (H31末)	11,085人																				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																											
3. 特記事項（今後の方針等）																											
コロナ禍の影響により製造品出荷額は短期的な落ち込みが見られるが、本計画の進捗により製造品出荷額および製造業従事者数は増加傾向を示しており、一定の事業効果が確認できる。引き続き本計画を推進し、最終目標の達成に向けて取り組んでいく。																											